

【教育委員会議事録】令和7年9月定例会

開催日時	令和7年9月26日(金) 9:30~10:00
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	磯部 芳規(教育長) 佐々木 猛(教育長職務代理者) 吉村 邦彦 川畑 誠治 畚野 美香子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 門田 重雄 教育部理事(教育部次長) 藤井 長武 教育部理事(教育部次長) 藤井 信幸 教育部次長(文化財保護課長) 岡本 正康 教育調整監 藤田 信夫 教育部次長(教育政策課長) 加藤 修 教育部次長(学校教育課長) 大坪 勇一 教育指導監(生徒指導推進室長) 林 哲史 教育研修課長 安藤 健治 学校支援課長 弘中 雅也 学校保健給食課長 森本 匡将 生涯学習課長 有田 俊一 中央図書館長 崎野 美也子 美術館長 榎谷 範一 教育部次長(歴史博物館長) 古城 春樹 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 教育部参事(下関商業高等学校事務長) 大賀 幸一 教育部参事(菊川教育支所長) 丸山 幸一 教育部参事(豊田教育支所長) 足立 英司 教育部参事(豊浦教育支所長) 藤井 裕志 教育部参事(豊北教育支所長) 村田 敦 教育政策課長補佐 吉岡 孝二 教育政策課主任 吉富 守夫 教育政策課主任主事 森 由希
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	P3
【署名委員の指名】	P3
【教育長報告】	P3
【議案】	
第48号 教育功労者表彰について.....	P4
【臨時代理等報告】	
令和7年度教育予算の補正（9月）について.....	P5
【報告事項】	
令和7年度地区文化祭・公民館まつり等について.....	P7
下関市立考古博物館開館30周年記念特別展『上の山古墳と穴門の趨勢 －本州最西端の後期古墳と集落－』の開催について.....	P9
【その他】	P11
【閉会の宣言】	P12

【開会の宣告】

磯部芳規（教育長）

皆さん、おはようございます。

それでは、教育委員会9月定例会を開会いたします。

教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、会議の定足数を満たしていることをご報告いたします。

【署名委員の指名】

磯部芳規（教育長）

本日の議事録の署名は、川畑委員、佐々木委員にお願いいたします。

（はい。（署名委員））

磯部芳規（教育長）

本日の日程は、日程1の議案が1件、日程2の臨時代理等報告が1件、日程3の報告事項が2件、日程4のその他となっております。

【教育長報告】

磯部芳規（教育長）

それでは、審議に入る前に教育長報告を行います。お手元の資料をご覧くださいと思います。

8月後半から本日までになりますが、一番やはりメインとしてご報告することは、「学びの多様化学校」設置検討委員会でございます。学びの多様化学校が着々と準備が進んでおります。議会の方でも質問がありましたが学びの多様化学校の準備が進んでいるということを報告いたします。

それから、9月は子供たちのいろいろな大会や表彰式等もあります。9月2日には下関市英語暗唱・弁論大会、また、つい先日ですが、小学校の下関歴史マップの表彰式も行っております。歴史マップの方につきましては小学校6年生から1,150点程出ており、これはかなりの数字ではないかなというふうに思っております。大体小学校6年生は1,500人位いるだろうと思っておりますので、かなりの児童が出してくれております。市長と表彰を行っております。

また、9月には、社会教育振興大会もございました。ご出席ありがとうございました。こちらにつきましては本村小学校の取組等を紹介することになりました。講演等もございましたので、皆さん楽しんでいただいたと思っております。

そして現在も真っ只中でございますが、議会の一般質問が行われております。先程言いましたが、学びの多様化学校であるとか、施設に関するもの等の質問がありますが、教育に関しては今回質問が大変少ないような状況であります。また今からいろいろ要望もあるかもしれないのでご相談したいと思います。

以上、簡単ですが、教育長報告とさせていただきます。何かご質問ございますでしょうか。

(ありません。(全員))

磯部芳規（教育長）

それでは、日程1の議案審議に入ります。

【議案事項】

議案第48号 教育功労者表彰について

磯部芳規（教育長）

議案第48号「教育功労者表彰について」教育政策課、加藤部次長お願いします。

加藤修（教育部次長（教育政策課長））

はい、教育政策課でございます。

議案第48号「教育功労者表彰について」ご説明いたします。資料は2ページから14ページになります。

本件は、下関市教育委員会表彰規則第7条の規定に基づき、教育功労者を決定しようとするものでございます。このたびは、規則第4条第1号に係ります定期表彰と同条第2号の臨時表彰であります篤行表彰の提案になります。

まず、篤行表彰ですが、郷土文化の向上発展を願われ、1団体から下関市立豊北歴史民俗資料館に対しまして、句碑のご寄附がございました。さらに、芸術文化の向上発展を願われ、1名の方から、下関市立美術館に対しまして、作品のご寄附がございました。表彰者のお名前、表彰事由の詳細につきましては、3ページの配布資料別紙1をご参照願います。

次に、定期表彰ですが、表彰者は功績表彰が44名、永年勤続表彰が5名の計49名となっております。表彰者のお名前、功績要旨につきましては、4ページ以降の配布資料別紙2をご参照願います。

今回の表彰者につきましては、去る8月27日に選考委員会を開催しまして、その中で教育委員会表彰規則、内申調書及び内規等に照らしまして適当であるとされたものでございます。説明は以上でございます。ご審議の程、よろしく願いいたします。

磯部芳規（教育長）

では、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

(ありません。(全員))

磯部芳規(教育長)

では、特にないようでございますので、議案第48号について承認としてよろしいでしょうか。

(はい。(全員))

磯部芳規(教育長)

では、承認といたします。

【臨時代理等報告】

令和7年度教育予算の補正(9月)について

磯部芳規(教育長)

続いて、日程2の臨時代理等報告に入ります。

「令和7年度教育予算の補正(9月)について」門田部長、お願いいたします。

門田重雄(教育部長)

下関市教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により、8月9日からの豪雨に伴う災害復旧関連事業の令和7年度9月補正予算について、追加議案の提出まで急を要したことから意見聴取について臨時代理したので報告いたします。

8月の教育委員会定例会において、長府中学校と小串小学校の被害状況を報告したところでございます。被害状況を改めまして席上に配布しております。参考までにご覧ください。資料の15ページが報告となります。16ページからの説明をいたします。

16ページの第11款災害復旧費、第3項その他公共施設公用施設災害復旧費、第1目教育施設災害復旧費の補正額9,080万円が教育委員会所管分でございます。この災害復旧工事に係る工事請負費や測量等に係る委託料、消耗品費でございます。補正額9,080万円でございますが、内訳をお示ししますと長府中学校が8,660万円、小串小学校が420万円でございます。

次に、繰越明許費の補正について説明いたします。資料は17ページになります。教育施設災害復旧事業(現年発生)につきましても、工事に日時を要し、年度内の完成が見込めないため、9,080万円のうち、測量等に係る委託料2,000万円を除く、7,080万円を令和8年度に繰り越すものでございます。

以上、報告いたします。

磯部芳規(教育長)

では、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。吉村委員、お願いいたします。

吉村邦彦（教育委員）

ご説明ありがとうございます。

子供たちの安心安全というのは最優先だと思いますので、できるだけ早くお願いしたいと思うんですが、最終的に工事終了予定というのは、いつ頃になりそうなのでしょうか。

磯部芳規（教育長）

学校支援課、弘中課長お願いいたします。

弘中雅也（学校支援課長）

はい、学校支援課です。

長府中学校は令和8年9月頃、工事期間約8ヶ月程見込んでおります。小串小学校の方は工事期間3ヶ月程見込んでいまして、令和8年4月頃の予定です。以上です。

吉村邦彦（教育委員）

ありがとうございます。

磯部芳規（教育長）

ほかにご質問、ご意見ございませんでしょうか。畚野委員、お願いいたします。

畚野美香子（教育委員）

ご説明ありがとうございます。

こちらの方、なるべく早く子供たちのためにしていただきたいと思いますが、内容としましては、資料にある写真の被災状況に載っているこのあたりをすべて、以前の状態に戻していくというふうに捉えてよろしいでしょうか。

磯部芳規（教育長）

学校支援課、弘中課長お願いいたします。

弘中雅也（学校支援課長）

今、応急復旧までは終わっておりまして、今回の補正予算で本復旧ということで、崩れないように設計してもらって、詳細な方法を検討してもらうんですが、法面などコンクリートで補強するような工事になるかと思います。

畚野美香子（教育委員）

次の災害が起こりにくくなるような所までという理解でよいですか。

弘中雅也（学校支援課長）

そのとおりです。

畚野美香子（教育委員）
ありがとうございます。

磯部芳規（教育長）
ほかにご質問等ございませんでしょうか。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）
では、ないようでございますので、本件について報告済みといたします。

【報告事項】

令和7年度地区文化祭・公民館まつり等について

磯部芳規（教育長）
続きまして、日程3の報告事項に入ります。
では、「令和7年度地区文化祭・公民館まつり等について」生涯学習課、有田課長お願いいたします。

有田俊一（生涯学習課長）
「令和7年度地区文化祭・公民館まつり等について」ご説明いたします。資料の18ページをご覧ください。
地区ごとの開催日は、資料19ページの一覧表のとおりとなっております。
本庁管内の17番の玄洋地区はすでに開催済みではございますが、10月から11月にかけて地区文化祭が開催されます。地域の学校や団体の活動の成果をぜひご覧いただければと思います。以上、報告を終わります。

磯部芳規（教育長）
では、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。吉村委員、お願いいたします。

吉村邦彦（教育委員）
ご報告ありがとうございます。
地域の文化祭は、非常に今、高齢化が進んでご承知のとおり、来客も非常に減ってきています。ぜひ、少なくとも教育委員会の皆様は日程を全部見られているので、どこかお近くに足を運んでいただけたらなと思っております。
ちなみに、11番の西部公民館の地区文化祭は、私は実行委員長をやっておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

磯部芳規（教育長）

よろしくお願ひします。

ご意見、ほかにございませんでしょうか。佐々木委員、お願ひいたします。

佐々木猛（教育長職務代理者）

ご説明ありがとうございます。

私も西部公民館へ行くようにいたします。

この日にちなんでですが、これは各公民館で実行委員会が立ち上げられて、日にち設定をしているというだけなんです。というのが、例えば、私の地区は彦島公民館なんです。この日は各中学校の文化祭の日になっています。子供を含めて来ていただきたいという時に、そういった中学校行事があると行けないという声も結構聞きます。昨年度も同じだったので、自治会長等々にお話をしたんですけど、改善されてませんでした。できれば学校行事、特に中学校の文化祭等々がある日程というのは、各学校の方からお知らせはしているんだろうとは思いますが、極力多くの方を呼んでいただいた方が楽しいですし、出演される方々も、それを一生懸命励みにされて、いろいろな演芸等々習っていらっしゃる方も多いので、ぜひその辺をお伝えしていただきながら、開催できればいいなというふうに思います。よろしくお願ひいたします。

磯部芳規（教育長）

今の点につきましては、今の学校運営協議会には公民館長であるとかが必ず入っていると思います。学校と公民館とよく打ち合わせを出来る状況にあると思うので、また校長会等も通じて私も伝えていきたいと思ひます。

ほかにございませんでしょうか。吉村委員、よろしくお願ひいたします。

吉村邦彦（教育委員）

すみませんで。教育委員同士のキャッチボールになってしまうんですが、西部は西部地区の文化祭で、中学校の文化祭も一緒にやります。もう子供たちの人数が少ないので、それができます。保護者の皆さんもこの西部地区の文化祭に来てもらう。そこで、中学校の文化祭も一緒にやっているというふうに去年からやり始めています。

磯部芳規（教育長）

はい、川畑委員お願ひします。

川畑誠治（教育委員）

地域の地区の文化祭と学校行事の中学校の文化祭がかぶってしまったのは、最近の話です。中学校の文化祭の日程を変更したのは、私が中学校現場にいる時に中学校の校長会の総意で日程を変更しました。教育委員会の方々も知っておいて欲しいなと思ってお話をするんですが、日程を変更したきっかけは、体育祭を9月の頭から、9月の末に変えないと、子

供たちの命が危険だということから始まったものです。

中学校の現場では体育祭を動かすと、今度は中体連の新人戦があって、文化祭があって、11月まで文化祭を下げると、今度は3年生の進路に関わってくるので、限界のところはどこかというところを探っていく、最終形として10月の最後の日曜日を文化祭としようというふうにして、中学校現場では校長の総意で決定しました。

ところが、その前に地区の文化祭日程が決まっていまして、川中地区でいうと、私とそれから堀田中の校長2人で、連合自治会長に全部集まっていたいただいて、ご説明をさせていただきました。地区の文化祭の日程については、変えてくださいと言える立場じゃないので言いませんが、中学校はこういう理由で、ここしか文化祭ができないので、「どうしても今年の日程とかぶってしまいます。ご容赦ください。」というところまでは言わせていただいて、あとは日程を変更するかどうかというのは、主催者の方で考えていただいたんです。

その時にいただいた意見は、なかなか簡単に、地区の文化祭の日程は変えられないということでした。出演者が、掛け持ちで隣の地区の文化祭にも出るということもあって、単独で、その公民館の文化祭だけを変えるというのがなかなか難しいというのを教えてもらいました。では、日程がかぶった場合、極力、中学校が地区の文化祭に協力できることは、どんなことかということと一緒に考えて、例えば、展示物は今までどおり出しますとか、土曜日は中学校文化祭の前日なんですが出演はできますとか、ただ、日曜日は学校行事なので出演ができませんとか。生徒たちは、土曜日の昼またぎの午後でしたら、行かせることが出来ますというところで、折り合いをつけさせてもらった経緯があります。理解はしていただきました。やっぱり、元をたどれば、中学校の体育祭を9月の頭から9月末に変えるタイミングで、中学校の文化祭を10月末に変えたということで、なかなか地域とバッティングする日程なので、難しい面もありますが、そこは、教育長がさっきおっしゃったように、学校運営協議会であったりとか、公民館長であったりとか、連合自治会長と学校の責任者がしっかり協議をする、説明をさせていただく、そういうことも大切なのかなというふうに思います。知っておいていただきたいなと思います。以上です。

磯部芳規（教育長）

ほかにございませんでしょうか。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

報告済みといたします。

【報告事項】

下関市立考古博物館開館30周年記念特別展「上の山古墳と穴門の趨勢

—本州最西端の後期古墳と集落—」の開催について

磯部芳規（教育長）

では、次でございますが、「下関市立考古博物館開館30周年記念特別展『上の山古墳と穴門の趨勢ー本州最西端の後期古墳と集落ー』の開催について」文化財保護課、岡本部次長お願いいたします。

岡本正康（教育部次長（文化財保護課長））

文化財保護課からご報告いたします。資料は20ページをご覧ください。また、席上配布で特別展チラシを配付しておりますので、こちらもご参照ください。

本展覧会は、考古博物館開館30周年記念として開催するものでございます。事業実施にあたっては、令和7年度の国立文化財機構収蔵品貸与促進事業として採択を受け、国立文化財機構文化財活用センター及び東京国立博物館から多大なるご支援とご協力をいただいております。

本展は、綾羅木郷遺跡の東側に位置する川北神社の境内地から、明治時代に優れた出土品が発見された「上の山古墳」に注目し、現在は東京国立博物館が所蔵している「上の山古墳出土品」14件の里帰りを軸に企画したものでございます。

下関市は本州の西の端という地理的特徴から、我が国の歴史のなかでもターニングポイントとなる多くの歴史的事象の舞台となっています。古墳時代後期の6世紀前半との説もある「上の山古墳」の出現にも、本市の歴史をひも解く重要なヒントが潜んでいます。本展覧会では、当時のヤマト王権とのかかわりが深い上の山古墳の歴史的な意味について、市内のその他の古墳や集落を交えて事例を交えて考察し、関門海峡に面して「穴門」と呼ばれたこの地域が「長門国」として再編される過程を、展示総数930点にのぼる、市内遺跡出土資料によって探求するものです。

開催期間は、令和7年10月11日（土）～12月7日（日）で、この間の月曜日は休館となります。

また、会期中には、記念講演をはじめ関連イベントを予定しています。詳細は、席上配布のチラシのとおりとなります。東京国立博物館の河野正訓氏をはじめとする外部有識者を講師として招いての記念講演会のほか、「さわって学ぶ古墳時代」と題し、近年、考古博物館が進めるユニバーサル・ミュージアムの取組の一環として、目の不自由な方々の参加も促すワークショップなど、多彩な内容を準備しています。

以上、ご報告いたします。ご来観、ご周知につきご協力の程、よろしくをお願いいたします。

磯部芳規（教育長）

では、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

ないようでございます。本件については報告済みといたします。

【その他】

磯部芳規（教育長）

では、日程4その他ですけれども、吉村委員から発議がありました、夏休み明けの子供たちの様子について、生徒指導推進室、林室長お願いします。

林哲史（教育指導監（生徒指導推進室長））

はい。夏休み及び夏休み明けの児童生徒の様子についてご報告をいたします。

まず、夏休み中の様子について報告いたします。

青少年補導委員の報告では、生徒、児童の非行行為等の注意をしたという報告はございませんでした。学校から報告があった児童生徒の問題行動ですが、夜間、中学生が校舎内に侵入したという案件が1件ございました。学校からは、関係した生徒には、警察と連携し指導するとともに、保護者にも指導の協力をお願いしたということを報告を受けております。

その他、学校から児童生徒の問題行動等についての相談報告等はございません。各学校において、気になる児童生徒はおりますが、特段緊急の対応を要した案件はなかったと受けとめております。

次に、夏休み明けの児童生徒の様子について報告いたします。2学期に著しく様子が変わった、服装や髪型の乱れ等があった児童生徒についての報告は受けておりません。夏休み前から気になる生徒はおります。各学校で粘り強く、個別の指導を継続していただいているという状況です。また、1学期末に気持ちの面で不安定な生徒もおりましたが、2学期元気に登校しております。

ただ、9月に入り、投石によるガラス破損の事案が2校の中学校で発生しております。中学生によるものかどうかは不明ですが、市内全小中学校の校長、教頭には、9月13日に緊急メールで、設備点検及び、施設の施錠の徹底等をお願いをしているというところがございます。

最後に、不登校についてご報告いたします。ここ数年、不登校児童生徒数は増加傾向にありましたが、昨年度は中学校で大幅に減少、小学校では同程度でした。今年度1学期も小学校、中学校ともに減少傾向であると受け止めております。2学期のスタートにおきましても、各学校で校内教育支援教室、いわゆる別室で学習している児童生徒、かんせい、あきねに通級している生徒もおります。現在、多くの児童生徒が学びにつながることできている状況です。なお、例年でありましたら、文部科学省から10月末に、令和6年度の問題行動等調査の結果が発表されます。11月の教育委員会定例会で、国や県の調査結果と併せてご報告をする予定としております。以上です。

磯部芳規（教育長）

ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。吉村委員、お願いいたします。

吉村邦彦（教育委員）

はい、ご報告ありがとうございました。

私の方が質問を投げかけておりました。夏休み、それから夏休み明けということで、一部投石等あったんですが、これは警察の方から私の耳にも入ってきています。限られた学校で起きている事象なので、ぜひここは注意をしていただければと思います。

それから、問題行動、不登校に関しても減少傾向にあるというふうなことで非常に安堵しております。いろいろありがとうございます。皆さんここにおられる皆さんのご尽力だと思いますので、これからも、引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございます。

磯部芳規（教育長）

ほかにございませんでしょうか。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

なければ、次回の日程でございますが、10月の教育委員会定例会は10月29日（水）午前9時30分から下関市教育センター3階中研修室にて開催の予定でございます。委員の皆様よろしいでしょうか。

（はい。（全員））

【閉会の宣言】

磯部芳規（教育長）

では、本日の議事すべて終了いたしました。これで定例会を終了といたします。どうもお疲れ様でした。

（お疲れ様でした。（全員））

教育長

署名委員

署名委員

作成職員
